

令和4年度

2学期の活動報告

岐阜市立加納幼稚園

3歳児



2学期当初は、
1学期に経験し
たことを基に
遊びました…



砂場や、好きな
遊具で遊んだり、
保育室でブロッ
クや製作遊びも
しました。



- **2学期が始まった当初は、久しぶりの幼稚園が嬉しいという子もいれば、お母さんと離れることがちょっと寂しいという子もいました。**

1学期に十分遊んだことを思い出し、経験した遊びから始めることで、幼稚園での生活のリズムを取り戻していきました。

久しぶりの幼稚園に、おうちの人と離れがたくなる子もいましたが、4月当初と思うと、保護者ともスムーズに離れられるようになってきました。

3歳児



体を動かす経験も
たくさんしました。



かごをめがけて玉入
れもしていきました。



年中組とも一緒に、
サーキット遊びを楽
しみました。

園庭で、年長・年中児の真似をして、かけっこや玉入れ、サーキット遊び等の運動遊びをたくさんしていき、体を動かす経験を積み重ねていきました。

サーキット遊びは、年中児と一緒にになって道具を運んでコースを作っていくこともありました。日常の遊びの中で、自然と異年齢の交流をしていました。

3歳児



初めての親子ふれあい
フェスティバル・運動会も
存分に楽しみました



初めての、運動会も経験しました。楽しく踊る姿や思いっきり走る姿を見ていただくことができたのではないかと思います。

おうちの方となかなか離れられなかった子もいましたが、経験を重ねていくことで、来年はきっと大丈夫だと思います。

3歳児



運動会の余韻を、友達と一緒に楽しめました



少しずつ、仲間意識も芽生えてきました



運動会が終わった後も、玉入れやかかけっこ等、継続して遊んでいきました。・・・運動会当日で終わってしまうのではなく、運動会前から終わったあとまでつながっています。子供の興味関心をとらえて、遊びを楽しんで広げていきます。

また、同じクラスの子は仲間なんだ、友達なんだ、という意識も芽生えてきました。「〇〇ちゃん、一緒に遊ぼう！」とお互いに誘い合っては、一緒に遊ぶ姿が増えてきました。

3歳児

好きな遊びで繰り返し遊ぶようになってきました



みんなで集って遊ぶことが増えてきました

好きな遊びを、繰り返し遊ぶことが増えてきました。また、友達への意識も強くなり、みんなで遊ぶことが楽しい！と感じられるようになってきました。

年少さんなりに、自分たちで考えたり試したりして遊ぶようになってきました。

秋から、思い出の森へも遊びに行くようになり、自分たちで石垣を登っていくたくましさもありました。

4歳児



夏まつりのコーナーにも刺激を受け、4歳児も動物に興味をもつようになりました



**夏まつりの、迫力満点のコーナーを体験させてもらったことで、
年中組の子たちも動物に興味をもつように…**

自分たちでモニュメントも作成しました。

**自分たちでタブレットや図鑑を見て、動物の細かな形を確認し
ていきます。**

**紙を貼ったり色を塗ったり、自分たちで考えた動物が形になっ
ていくことに喜びを感じました。**

4歳児



友達と力を合わせて、体を動かす
ことも楽しくなってきました



自分のクラスは、れんげ組、たんぽぽ組、という意識も強くなってきて、友達と一緒に、力を合わせて一つのことをすることが多くなってきました。

年長児のリレーを見て” やってみたい！” という気持ちをもって参加したり、れんげ組とたんぽぽ組のクラス対抗で、玉入れを楽しむこともありました。

また、自分たちで、サーキットを作ろうと友達と一緒に遊具を運んだり、トンネルを作ったり、ゴムを括りつけたりしていきました。“自分たちのサーキット”を繰り返し楽しんでいけると、そこに年少組の子たちも参加してきて、一緒に楽しむ姿もありました。

4歳児



大きい組さんが、あそこにいるんだね！



いろいろな
人との
かかわり



遠足は、長良公園へ。年長組さんたちが登っている金華山を見ることが出来ます。年長組さんたちが中腹へ来たところへ、連絡を取り合って光の交信をしました。

「今、光ったね〜。」「大きい組さんが、あそこにいるんだね！」と、光の方を見ていました。

来年は、みんなが登る番だね！と、先生の話聞きながら、楽しみにしているようでした。

4歳児



試したり工夫したり
してして遊ぶ



繰り返し遊ぶ



友達と一緒に遊ぶことが、楽しくてたまらないようです。

れんげ組の子たちは、樋を使って、どんぐりを転がす“ドングリ装置”を次々と作っていきました。うまくいかなくても、なんども試し、何度も樋やビールケースの置き方を考えたりして、れんげ組の”どんぐり装置”ができあがっていきました。

たんぽぽ組の子たちは、昨年度の年長組が作った”コロコロドミノ”にヒントを得て、自分たちでも、どんぐりを転がすドミノを作っていました。

どうしたらスムーズにドングリが転がっていくか、トイレットペーパーの芯や牛乳パックなどの廃材を使って、切ったりつなげたりして、作っていきました。「そっち持っててね。」「ここにテープ貼って。」と自分たちで試しながら作り上げていきます。

4歳児

新たな遊びにも挑
戦していくようにな
りました



ルールのある
遊びや作って
遊ぶことを繰
り返し楽しみ
ました



縄跳びや、一輪車等、友達や、年長組さんの刺激を受けて、自分たちでも挑戦していくようにもなりました。すぐにできるようになるには難しいですが、友達の「〇〇ちゃんも一緒にやってみようよ。」という言葉や先生の「先生が持っててあげるから大丈夫だよ。」という言葉や思いを支えに、コツコツと取り組む姿も見られました。うまくいかなくて「もうやめる。」と思わず言う子もいましたが、「やりたくなったらまたやってみようよ。」「先生は、〇〇ちゃんが一生懸命やっているのを知ってるよ。」と優しくことばをかけてくれる先生に、もう一度やってみようかな、と思って再度取り組む子もいました。

4歳児の発達段階から考えると、できる、できない、と自分自身で思ってしまうがちですが、教師は取り組みの姿や過程を評価していきます。その思いを受けて、徐々に自分でも頑張ろう、自分なりの目標をもとう、という思いを子どもたちはもてるようになっていき、少しずつ姿が変わっていきます。大人の支えを必要とする時です。

また、鬼ごっこや年長組と一緒にドッジボール等、ルールのある遊びに、2クラスの子たちが混ざって遊ぶ姿もよく見られます。先生とルールを確認したり、みんなでどうすると楽しく遊べるか考えたりしながら遊んでいます。今後、これらの遊びがどのように展開していくのか、楽しみです。

石鹸を泡立てた、ケーキのホイップづくりも、根気よく繰り返して作って行きました。年長組さんたちがずっと作っているのを見て、自分たちでも作ってみたいと始めて行きました。